

## 今週（7月1日から7月5日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のコール市場は、前週に引き続き資金調達ニーズの強い展開となった。

無担保コールO/N物は、四半期末要因が剥落したことで調達を再開した先が多く見られたものの、出会い水準は前週から変化がなく、0.075~0.078%の高水準での推移が中心であった。3日(水)には新紙幣の発行により銀行券要因が大幅な発行超となったものの、コール市場への影響は見られなかった。

ターム物は、1W~3M物を中心に0.13~0.20%近辺で出会いが散見された。

日銀当座預金は、週初1日(月)に551兆円台でスタートしたが、3日(水)に新紙幣発行や税・保険料揚げ要因により543兆円台まで減少した。その後は、4日(木)の国債買入オペにより545兆円台まで増加して推移する展開となった。

### ●レポ市場

今週のO/N GCIは、0~0.085%のレンジで取引された。2日(火)は、レートが低下し、一時0%の出会いが見られるなど不安定な推移となる場面が見られた一方で、5日(金)は短国3M物の発行要因もありレートが上昇する展開となった。

SCIは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが堅調に推移し、6Mゾーンは水準調整されレートが上昇した。

5日(金)に行われた3M物の入札は、強い結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小甘く推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、電気・ガス、石油、鉄鋼業態から大型発行がみられたものの、市場残高に大きな変化はなく、先週末対比で微増となる24兆円台前半での推移となった。

発行レートは、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
7/1 (月)	39,631.06	1.059	161.17	0.077	0.061	5,519,600
7/2 (火)	40,074.69	1.100	161.64	0.077	0.079	5,510,000
7/3 (水)	40,580.76	1.095	161.53	0.077	0.051	5,439,900
7/4 (木)	40,913.65	1.080	161.45	0.077	0.044	5,450,600
7/5 (金)	40,912.37	1.065	161.05	0.077	0.067	5,455,300

## 来週（7月8日から7月12日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
7/8 (月)	日銀支店長会議（さくらレポート） 5月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 5月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 6月の景気ウォッチャー調査(内閣府)				5月の米消費者信用残高
7/9 (火)	6月のマネーストック(日銀 8:50) 5月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB6M 37,000億円 7/10発行	5Y 23,000億円 7/10発行	交付税借入 13,000億円 7/18借入	
7/10 (水)	6月の企業物価指数(日銀 8:50)				5月の米卸売売上高
7/11 (木)	5月の機械受注統計(内閣府 8:50)	20Y 10,000億円 7/12発行	エネルギー 対策借入 7,957億円 7/22借入		6月の米消費者物価指数 6月の米財政収支
7/12 (金)		TB3M 52,000億円 7/16発行			6月の米生産者物価指数 7月のミシガン大消費者信頼感指数速報

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
7/8 (月)	300	5,600	5,900	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 300 ▲ 100 22,500		22,100	28,000	TB3M発行▲52,000償還58,000
7/9 (火)	500	1,000	1,500				0	1,500	
7/10 (水)	500	▲ 21,000	▲ 20,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 28,500	TB6M発行▲37,000償還38,900 5Y発行▲23,000
7/11 (木)	500	▲ 2,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
7/12 (金)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000				0	▲ 4,000	源泉所得税揚げ、労働保険料揚げ 社会保障費払い 20Y発行▲10,000
週間合計	800	▲ 19,400	▲ 18,600	—	14,100	0	14,100	▲ 4,500	

7/8は日銀予想、7/9以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドからの強い資金調達ニーズが見込まれ、今週と同水準での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレート水準は、0.03～0.10%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、9日(火)に6M物、12日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、11日(木)にCP等買入オペが予定されており、規模が縮小する中で足切り水準等の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では8日(月)に日銀支店長会議（さくらレポート）、5月の国際収支、10日(水)に6月の企業物価指数、11日(木)に5月の機械受注統計、海外では、11日(木)に6月の米消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入